

ユニバーサルデザイン新聞

2026年 8月
発行所 神野いおり

？ユニバーサルデザインって何？

私たちのまちは、子どもから大人、お年より、男性や女性、外国人、車いすを利用する人、視覚や聴覚に障害がある人など、色々な人がくらしをしています。ユニバーサルデザインとは、こうした人々だれもが最初から利用しやすく、くらしやすい社会となるように、まちや建物、もののしくみ、サービスなどを考えていくようにしていかうとする考え方です。サービスなど、一体私たちのまわりには、どのようなデザインがあるのか、くわしく調べてみる事にしました。

街の中にあるユニバーサルデザイン

①自動ドア
手を使わずに開け閉めできます。

②案内板
絵や多くの言語を使ってわかりやすく書かれています。

③点字ブロック
目の見えない人が安全に歩くのに役立ちます。

④公共トイレ
だれもかかいてきに利用する事ができます。

⑤自動販売機
ボタンが高い位置にも低い位置にもあり使えやすくなっています。

⑥水飲み場
高さがあって自分で合った方をえらべます。

⑦スロープ
車いすの人やベビーカーの人でもスムーズに上がりおりできます。

身の回りのユニバーサルデザインを見つけよう

＜お札＞

さわってわかるお札の種い。
お札の左下をさわってみるとざらざらして、お札の種いを区別出来る様になっています。

＜シャンプー、リンス＞

シャンプーの容器には横にでこぼこ線が何本か入っていますが、リンスにはありません。
さわっただけで、区別が出来る様になっています。

＜ペットボトル＞

真中に指をひっかけると、重みがある事で重いペットボトルでも持ちやすく、注ぎやすい様に工夫されています。

＜照明のスイッチ＞

照明のスイッチが大きいと力を入れずに、かしたんに電気をつけたり、消したり出来ます。
暗やみでもスイッチの場所がわかる様に小さなLEDが光るタイプもあります。

このユニバーサルデザインマーク見たことありますか？

 マタニティマーク にんぶさんのマーク	 ヘルプマーク 障害がある事を知らせるマーク	 国際シンボルマーク 障害者が利用できる建物、施設であることを示すマーク	 視覚障害者のための国際シンボルマーク 目が見えない人のためのマーク
 耳マーク 耳が不自由な人のためのマーク	 ほじょ犬マーク ほじょ犬の受け入れを知らせるマーク	 ハートプラスマーク 外見ではわからない身体内部に障害を持つ人のマーク	 ベビーカーマーク ベビーカーを使用して利用出来る場所を表すマーク

私たちが考えるユニバーサルデザインは、人々の生活の質を向上させるためのものです。例えば、高齢者が安心して生活できるように、バリアフリーの環境を整えることが重要です。また、障害のある人も、社会に参加できるように、様々な工夫が必要です。ユニバーサルデザインは、私たちの生活に欠かせないものです。これからも、より良い社会のために、努力を続けていきます。

これらのマークは、障害を持つ人々の生活の質を向上させるためのものです。例えば、視覚障害者のための点字ブロックや、聴覚障害者のための手話通訳機など、様々な工夫がなされています。また、障害のある人も、社会に参加できるように、様々な工夫が必要です。ユニバーサルデザインは、私たちの生活に欠かせないものです。これからも、より良い社会のために、努力を続けていきます。

編集後記